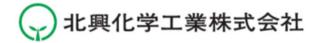
平成29年(2017年)11月期 第1四半期 決算補足説明資料

平成29年(2017年)4月10日



(連結)業績概要

(前年同期比)

- ◆ 売上高は、農薬事業の販売が流通在庫の影響などにより減少したことから減収
- ◆ 営業利益は、製造原価の低減や販売費及び一般管理費の節減を進めましたが、売上高の減少が影響し減益
- ◆ 経常利益は、受取配当金の増加に加えて、円安の進展により為替評価損益が改善したことから増益

単位:百万円		(参考) 平成27年度 (2015年度) 第1四半期	平成28年度 (2016年度) 第1四半期	平成29年度 (2017年度) 第1四半期	前年同期比	増減率
売	上 清	14, 188	14,620	14,361	$\triangle 2 5 9$	△1.8%
営	業 利 益	1, 439	1, 791	1,760	$\triangle 3 1$	$\triangle 1.8\%$
経	常利益	1, 517	1, 621	2, 598	+ 9 7 7	+60.3%
	社株主に帰属する 半 期 純 利 益		1, 191	2, 022	+831	+69.8%









注)平成27年度(2015年度)の第1四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書における表示方法の変更については、8ページに記載の注意書きを参照ください。

主要製品



水稲用、園芸用

- 殺虫剤
- 殺菌剤
- 殺虫殺菌剤
- 除草剤 等

ファインケミカル事業

- ・エポキシ樹脂硬化促進剤
- ・触媒及び触媒配位子
- ・フォトレジストモノマー
- 医薬合成用原料
- 合成香料原料
- ・工業用防腐防カビ剤等

(連結) セグメント別 売上高

(単位:百万円)

セグメント	^(参考) 2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	2017年度 第1四半期	前年同期比
農薬事業	10,794	11,525	11,277	$ riangle 2\ 4\ 8$
ファインケミカル事 業	3, 384	3, 088	3, 077	△11
その他	1 0 9	7 5	7 4	△ 1
合 計	14, 287	14,688	14,428	$\triangle 2 6 0$
調整額	△ 9 9	△ 6 9	△ 6 8	+ 1
四半期連結 損益計算書計 上 額	14, 188	14,620	14, 361	△259

10,794

一農薬事業一

ー ファインケミカル事業 ー



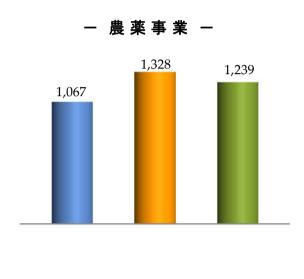
「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、 石油製品等の販売等を含んでおります。

(連結) セグメント別 営業利益

(単位:百万円)

セグメント	(参考) 2015年度 第1四半期	2016年度 第1四半期	2017年度 第 1 四半期	前年同期比
農薬事業	1, 067	1, 328	1, 239	△88
ファインケミカル 事 業	3 6 7	4 6 2	5 1 9	+ 5 6
その他	4	2	2	0
合 計	1, 439	1, 791	1, 760	△ 3 1
調整額	_	_	_	_
四半期連結 損益計算書計 上 額	1, 439	1, 791	1, 760	△31

「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、 石油製品等の販売等を含んでおります。



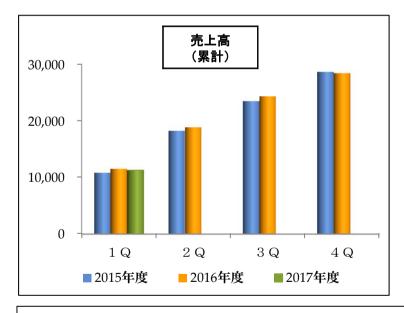


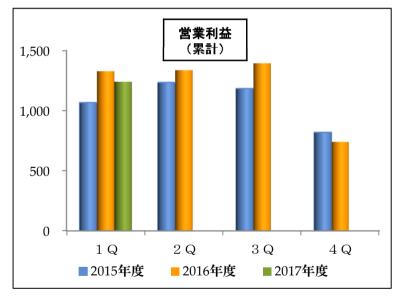
(連結) セグメント別業績推移 農薬事業

(単位:百万円)

	2015年度(参考)				
	第1Q	第2Q ^{累計}	第3Q 累計	第4Q 累計	
売上高	10,794	18,215	23,500	28,679	
営業利益	1,067	1,233	1,184	818	

2016年度	201/年度			
第1Q	第2Q 累計	第3Q 累計	第4Q 累計	第1Q
11,525	18,888	24,350	28,418	11,277
1,328	1,336	1,394	739	1,239





農薬製品の売上高は、主に国内における水稲用除草剤などの流通在庫の影響により販売が伸び悩み、前年 同期比で減収となりました。

(連結) セグメント別業績推移 ファインケミカル事業

(単位:百万円)

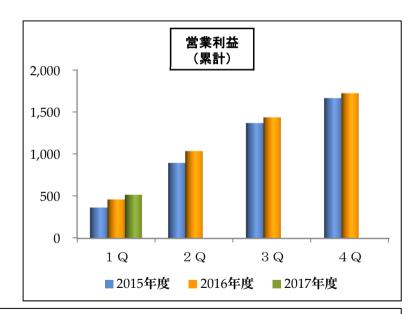
2015年度(参考)

	第1Q	第2Q 累計	第3Q 累計	第4Q 累計
売上高	3,384	6,904	10,432	13,538
営業利益	367	898	1,368	1,663

- 2	2016年度			
	第1Q	第2Q 累計	第3Q 累計	第4Q 累計
	3,088	6,113	8,955	11,674
	462	1,037	1,437	1,722







ファインケミカル製品の売上高は、樹脂、医農薬および電子材料分野での販売が伸長したものの、その他の受注が低調に推移したことから、ほぼ前年同期並みとなりました。

一方、営業利益は製造原価の低減に努めた結果、前年同期比で増益となりました。

注)表示方法の変更について

- ・当社は、たな卸資産の一部についてその廃棄損を営業外費用に計上しておりましたが、平成28年度(2016年度)第1四半期より売上原価として計上する方法に変更しております。
- ・これに伴い、平成27年度(2015年度)各四半期連結累計期間・連結会計年度については、営業利益(2ページ)並びに農薬事業のセグメント別営業利益(5、6ページ)を、同様の基準で組み替えて表示しております。
- ・なお、売上高、経常利益、親会社株主に帰属する四半期・当期純利益の表示に変更はございません。